

## 成態単分線を付得数の一様に

## 义·藤本一美

text by Kazumi FUJIMOTO

電車・ 初三郎最大のライバルだった金子常 年頃戦病死か)がいち早く、 光(明治二十七年生まれ、 た初三郎作品は、残念ながらない。 作が著名である。 観光協会発行・図柄は同じ) で七版と重版し、好評だった。 十二年に「京成電車御案内」 それに対し、 京成電車の会社名をタイトルにし Ó 「霊場の千葉県」(ともに房総 初版)を発行して以来、 「京成電車沿線名所案内」 「海光の千葉県」「情味の千 初三郎作品は、 昭和十 の三部 昭 昭

## 日本 一美

し、「路線総延長五百七十六粁余\_

を赤色で、「地方鉄道野田、船橋、流山

小湊、

成田の六線」

を黒色で

当時の「国有鉄道総武、

を知ることができる。

解説によれば

トや観光名所の売り出しの動き

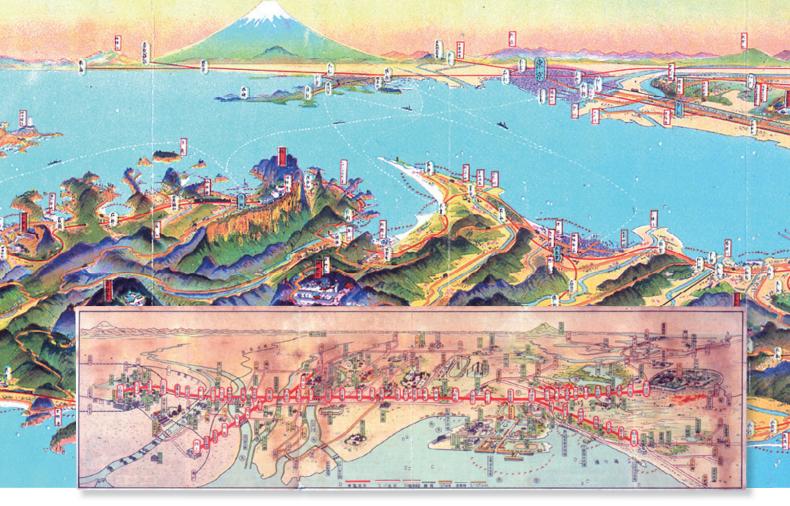
昭和初期、

すでに首都圏の海浜リ

東金、常磐成田、

、久留里、

木原の七線



| 成田スカイアクセス 51.4km | 成田窓地域 | 12.7km | 成田窓地域 | 12.7km | 京成本線 | 12.7km | 京成上野 | 京成大野 | 元本の |

『京成電車沿線案内(鳥瞰図)』 (昭和 12(1937)年頃) 作画者不詳(金子常光作画か) 京成電車 発行



年閉園) 内」(京成電車・昭和十二年頃)」でも、 発の波が押し寄せていることが、 成電鉄直営の谷津遊園 昭和五年には押上―成田間が全通 まで開業。 年には国鉄と競合しながらも、 目的地である成田への延伸に着手し、 子常光風タッチの「京成電車沿線案 その後、 沿線には、 など、 大正十四年には、 延伸を繰り返し、 船橋の中山競馬場や京 首都圏のリゾート開 (昭和五十七 大正十 本来の

作品で でも、京成電車の押上から船 なかでも、京成電車の押上から船 をかでも、京成電車の押上から船 標、津田沼、成田に通じる路線上に、 機台かの電車が走行していて楽しく といる。 東京湾・浦賀水道越しの秀麗なる 東京湾・浦賀水道越しの秀麗なる なる。

詣での新勝寺参拝客をあてこんで明

治四十二年に創立した。

大正元年に、

(現京成高砂)

一柴又間を開業してい

-伊予田

(現江戸川)

間と曲金

前身である京成電気軌道は、成結ぶ路線が基幹の本線である。

成田·

その

みられる。

現在の京成電鉄は、

上野と成田を

31 MINTETSU SUMMER 2010

例証できそうだ。